

児童養護施設を退所した後の
アフターケアを支える

施設卒業生による支援活動

新緑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
平素はこども達を育て、守って下さり、ありがとうございます。

私どもは児童養護施設で過ごすこどもたちと、退所後に社会にあって自立しよう取り組んでいる若者の、チャレンジする力を支えるような取り組みを行い、一緒に成長をしたいと考えております。本書面では、先に開催されましたセミナーのご報告を記しております。先輩の話という目線からこどもたちの関心も大きく、職員の皆様からも実社会で必要な「生きる知識」として好評価を頂き、再講演のお引き合いを頂いております。首都圏であれば児童養護施設に伺い、セミナー開催を行わせていただきます。貴施設で機会を頂けますことを楽しみにしています。児童養護施設で過ごした経験を持つ先輩として、社会で学んだことを前向きに伝える活動が、児童養護施設での生活を支えて下さる事業者の皆様、働くスタッフの皆様への恩返しの一つとなれば幸いです。

一般社団法人 ZIRITSU
代表理事 兼 DEO 三浦宏一郎

皆さまと共に実現させたい、共通ビジョン(未来予想図)

こども達がどんな境遇になっても、
安心して ZIRITSU した大人になれる
社会づくり

(ZIRITSU=善良に自らを律し立つ)



一般社団法人 ZIRITSU

「自分の身を守るための ワークルールプログラム」

日程：2015年3月8日

実施場所：児童養護施設「まつば園」

参加：中高生18名・施設職員9名



当日のプログラム

◎当事者による体験談

「今からできる自立の準備」をテーマに、児童養護施設で過ごした経験のある2名の男性が先輩の体験談を伝えました。「自分の身を守るためのワークルール」

◎弁護士によるブラック企業の解説

【こどもたちによる3つのワークショップの開催】

- ・ブラック企業についての意見交換とグループ発表
- ・一人1台のiPadを利用した、インターネットによる情報検索
- ・先輩当事者である草間さん(元・高萩市長)との電話セッション。

こどもたちの声

ブラック企業についての説明はわかりやすくみんなで話し合うところが良かったと思います。内容も詳しく教えて頂き、ブラック企業の恐ろしさがわかりました。(中3男子)

自分の退所後の生活を想像しながら、話を聞くことができ、とてもためになりました。参加して良かったです。(高2女子)

白ひげの「おれの家族になれ」がすごく心に響きました。(中3男子)

職員さんの声

「当事者体験談」を聞くことができたこと。とても身近な感じがして、心に残りました。

自立ということ、施設を卒園していくということについて、漠然としつつも『自分にもそういうときが来るんだ』という感じられたと思います。職員として、自立に向けてどんなサポートをしてあげればいいのかと、改めて考えるきっかけになりました。ありがとうございました。

●セミナー・ワークショップを続けます。

一般社団法人ZIRITSUは社会的養護の下で育った当事者が集まり活動しています。社会人となった先輩として、これまでは先輩から退所後の体験談を直接聞く機会は無く、欲しかった学びの機会と感じています。そこで、私たちは、社会に出た時により多くのチャレンジが必要なこども達に、教育のチャンスをつくりだす活動を行っています。当事者だから出来る活動を皆様と共に見つめながら、引き続き「自分の身を守るためのワークルールプログラム」をテーマに、児童養護施設に伺う活動を続けます。こどもたちが今の自分にできる準備を支える活動が、こどもたちの力になり、未来に希望を持って欲しいと願っています。

●寄付金のご協力をお願いいたします。

- ・三菱東京UFJ銀行 戸塚支店 普：0249011 イツパンシヤダンホウジンズリツ
- ・ゆうちょ銀行 10250-47076061 シヤ) ズリツ